

スカーツ
SCARTS
アートコミュニケーター
募集説明会

ガイダンス

「SCARTS アートコミュニケーターとは？」

トークセッション①

「ひらくメンバーが振り返る、コロナ禍のアートコミュニケーション活動」

スピーカー：SCARTS アートコミュニケーター「ひらく」

トークセッション②

「今、「小さなコミュニティ」を考える」

スピーカー：樋泉綾子 (SCARTS キュレーター)

モデレーター：伊藤達矢 (東京藝術大学美術学部特任准教授 / とびらプロジェクト・マネージャー)

新型コロナウイルスが猛威を振るった2020年、アートコミュニケーターの活動も大きく変化しました。顔を合わせることが不安の材料にもなり、予定していた活動ができなくなる—そんな中、インターネットツールや限られた場所を活用し、新しい試みも多く生まれました。これらは集まりとしては小さなものですが、新しい人と人の関わり合いや、アートをめぐる新しいコミュニケーションのかたちを考える上で大きなヒントになり得るものです。今回の説明会では、アートコミュニケーターの活動内容を紹介するとともに、コロナ禍での活動について、現役のアートコミュニケーターがふりかえります。さらに、「小さなコミュニティ」をテーマに、ソーシャルディスタンス時代におけるアートを介したコミュニケーションについて考えます。

申込方法 札幌市民交流プラザウェブサイト内の申込フォームよりお申し込みください。
※2021年1月5日(火)より受付開始。



申込フォームやこれまでの活動レポートへはこちらからアクセス

<https://www.sapporo-community-plaza.jp/artcommunicator.php>

SCARTS アートコミュニケーター で検索



愛称「ひらく」について



SCARTS アートコミュニケーターの愛称は「ひらく」といいます。1期生のメンバーから、自分たちの活動をあらわす親しみやすい名前がほしい！という声があがり、みんなで案を持ち寄り、話し合って決めました。

「ひらく」という言葉には、未来に向かって動いていくイメージがあります。アートを通して人の心を開くこと、そのための方法を共に切り拓き、互いに啓きあうことが、「SCARTS アートコミュニケーター ひらく」の活動です。こうした活動を通して、ひと・もの・ことがつながる、ひらかれた場をつくっていきます。

札幌市民交流プラザについて



札幌市民交流プラザは、北海道初の多面舞台を備え、オペラ、バレエ、ミュージカル等にも対応する客席数2,302席の「札幌文化芸術劇場hitaru(ヒタル)」、「ひと・もの・こと」をつなぎ、札幌の文化芸術を支え育む「札幌文化芸術交流センターSCARTS(スカーツ)」、仕事やくらしに役立つ情報や札幌・北海道の魅力に関する情報を提供する「札幌市図書・情報館」の3施設からなる複合文化施設です。

〔お問い合わせ〕
札幌文化芸術交流センター SCARTS
アートコミュニケーション事業担当
〒060-0001
札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2F
Tel : 011-271-1955 (9:00 ~ 17:00)
E-mail : scarts@sapporo-caf.org

スカーツ
SCARTS 2021
アートコミュニケーター
「ひらく」3期生募集

愛称が
決まりました!



札幌文化芸術交流センター
SCARTS
SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER

主催 | 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

SCARTS アートコミュニケーター「ひらく」とは?

SCARTS アートコミュニケーター「ひらく」は、アートと市民をつなぐために活動しているチームです。展示会を訪れた人たちに作品を楽しんでもらうための仕掛けを考えたり、みんなで勉強会を開いて情報交換をしたり…その時々で方法を変えながら、アーティストや専門家も巻き込んでさまざまな活動をしています。

「ひらく」の活動は、例えば芸術作品の魅力を多くの人に伝えたり、作品の新しい見方を提案したりするだけではありません。作品を介した新しい人と人との関係や、「居場所」をつくり出すことも大きな目的です。

メンバーは、年齢も職業もバラバラ。特別な資格やスキルも必要ありません。人と人との関わり合い方が大きく変化している今、アートをきっかけに出会った仲間と一緒に、あたらしいコミュニティの形をつくりあげていきませんか?

※「SCARTS アートコミュニケーター」は、(公財)札幌市芸術文化財団が運営する文化施設「札幌文化芸術交流センター SCARTS」を拠点に活動しています。



たとえばこんな活動をしています。

ウェブでの情報発信

SNSで自分たちの活動を紹介するほかに、アートコミュニケーターの情報発信サイト「鑑賞レポート」から、展示会やコンサート等のレポートや、アーティストのインタビュー記事などを発信します。



鑑賞レポート

言葉で表現するって難しい…。でも親切で丁寧な添削指導があるので大丈夫! ちょっと恥ずかしいけどwebに載せちゃいました。(2期生・長谷川さん)

鑑賞サポートプログラムの実施

対話による美術作品の鑑賞サポートプログラムを通して、作品との出会いの入り口をつくります。



2020年9月20日(日)「ことばのいばしょ」展 鑑賞サポート

色々な方とお話をしながら作品を鑑賞すると、ひとりでは見えなかったものが見え、世界が広がる感覚を味わえます!(2期生・大澤さん)

ワークショップ等の企画・実施

ワークショップなどを通して、アーティストや子どもたちとともに、創造とコミュニケーションの場をつくります。

参加者の、真剣な視線を浴びながらのワークショップ。やはり子供の独創性はすごい!自由だ!(1期生・宮川さん)



2019年9月14日(土)「鈴木康広 雪の消息 | 残像の庭」展 関連ワークショップ

自主企画の立案・実施

札幌市民交流プラザを舞台にしたオリジナルの企画を通して、自分たちの「挑戦してみたい」をかたちにします。



2019年11月11日(月)「あいいうえ〜オペラ ミニレクチャーコンサート」

オペラの演出家や指揮者、歌手の方々へのインタビュー、そしてレクチャーコンサートにして楽しみ方をお届けできた体験はとてもエキサイティングでした!(1期生・八木澤さん)



ショートフィルムを見て感想を話す会を毎月オンライン開催しています。漠然とした提案の段階から沢山の応援を頂き、続けるうちに鑑賞体験を深める効果を実感しました。(1期生・杉谷さん)



メンバーの呼びかけで勉強会や読書会もやっています!



今年は伊藤亜紗「目の見えない人は世界をどう見ているのか」を題材にオンライン読書会を敢行!他のメンバーの解説を聞きながら、物事の多様な解釈について考えました。(2期生・室井さん)

アイデアが湧き出てくる人、じっくり聞いてくれる人、ワイワイ話した後にサッと企画をまとめてくれる人、背中を押してくれる人…それぞれのできることを、できる時に差し合せて、アイデアが形になり、気がつく一歩踏み出している面白い仲間です。アートを通して、自分の、そして誰かの新しい入口を一緒に「ひらく」の楽しみにしています。(1期生・稲垣さん)



メンバーの声

月に2回は講義を受けて学んだり、WEB掲示板で誰かが呼び掛けして、興味のある人が集まってディスカッションしたりと、楽しく活動しています。2020年はコロナ禍の影響で直接集まれる機会は少なかったけれど、オンライン上で集まって顔を合わせたり、みんなとても仲が良いと思います。好きな事がもっと好きになる場所かも。(2期生・齋藤さん)



毎週木曜はひらくデー!



毎週木曜日はひらくデーです。特別な目的がなくても、フラッと札幌市民交流プラザに立ち寄って、みんなでわいわい話し合ったり、勉強会をしたり、自由に集まれる時間です!(17:00~22:00)

講座について

安心して活動するために!

よりよいミーティングの方法、文章の書き方、「ワークショップ」についての考え方など、基礎的な知識やスキルを、みんなで話し合いながら学んでいく講座を多数用意しています。

場所|札幌文化芸術交流センター SCARTS 内、もしくはオンライン実施

講座は月1~2回、基本的に土曜に開催します。スケジュールは4月17日(土)に開催するオリエンテーションの際にお伝えします。新型コロナウイルスの感染拡大などの状況によっては、オンラインで実施します。

2020年度に開催した講座の主な講師

青木将幸(青木将幸ファシリテーター事務所代表) 館野泰一(立教大学経営学部准教授)

納谷真大(ELEVEN NINES/劇作家・俳優) 福住廉(美術評論家) 山崎正明(北翔大学教育文化学部教授) ほか

アドバイザー:伊藤達矢(東京芸術大学美術学部特任准教授/とびらプロジェクト・マネージャー)



SCARTS アートコミュニケーター募集について

応募条件

- ・18歳以上(2021年4月1日現在、高校生を除く)の方で、日本語で日常会話ができる方
 - ・美術、音楽、舞台等の文化芸術に関心があり、積極的に学び、活動したいと考えている方
 - ・SCARTSのミッション(ひと・もの・ことをつなぐ)を理解し、共感して活動のできる方
 - ・月2回以上の活動に参加可能な方(※)
 - ・電子メールでの連絡が可能な方
- ※新型コロナウイルスの感染拡大など、社会情勢の変化により困難が生じた場合にはこの限りではありません。



活動条件

- ① アートコミュニケーターの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、開催される講座には、無料で参加できます。
- ② アートコミュニケーターの登録期間は原則1年間とします(今期は2021年4月~2022年3月)。以降は本人とSCARTSが双方合意の上、年度ごとに登録更新し、任期は最長2024年3月までとします。
- ③ SCARTSのウェブサイト等を読み、電子メールでの連絡ができること。

募集人数
20名程度

活動拠点

札幌市民交流プラザ(札幌市中央区北1条西1丁目)

応募方法

以下の書類を郵送してください。

アートコミュニケーター応募用紙

※下記ウェブサイトよりダウンロードし、必要事項を記入してください。

<https://www.sapporo-community-plaza.jp/artcommunicator.php>

課題

「アートコミュニケーターに応募する動機を、その背景になっているあなたの体験を交えて述べてください。」A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですが、A4規格外の用紙使用や、裏面に記載のあるものは選考対象外となりますのでご注意ください。

返信用封筒1通

定形封筒(長形3号)に84円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。



応募受付期間 2021年1月5日(火)~2月5日(金)消印有効

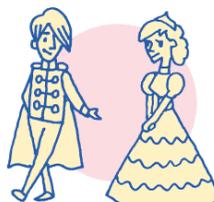
【郵送先】

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2F
札幌文化芸術交流センター SCARTS アートコミュニケーター募集担当宛

※ 郵送の際には、封筒表面に「アートコミュニケーター応募書類在中」と朱記してください。

※ 一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。

※ 応募者の個人情報は、アートコミュニケーターの選考に関する以外には使用いたしません。



選考日程

応募受付 | 2021年1月5日(火)~2月5日(金)

募集説明会 | 2021年1月23日(土)

1次選考 | 書類審査:選考結果は2021年2月20日(土)頃発送で応募者全員にお知らせします。

2次選考 | 面接審査:2021年3月6日(土)、3月7日(日)
※面接日は1次選考の結果通知時に対象者にお知らせします。

選考結果は2021年3月15日(月)頃発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

